

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位

対象学年組：1 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：播摩・大島）（M2組：播摩・大島）（E組：大島・興津）（A組：大島・興津）（S組：大島・興津）

使用教科書：（第一学習社 現代の国語） 副教材：（第一学習社 言語カドリル入門 読む・書く）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	1 自己を見つめる 【知識及び技能】 常用漢字を文の中で活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生きる原点としての自己への理解を深めようとする。	・福岡伸一 「ルリボシカミキリの青」 ・村田沙耶香 「こそそめスープ」			○	・常用漢字を正確に読み、文の中で活用している。 ・内容や構成、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。	○	○	○	10
	a 言語カドリル1～3 【知識及び技能】 順序を表す言葉を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報をわかりやすく伝える工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語カドリル入門 1 順序を読む（1） 2 順序を読む（2） 3 概観・詳細 ・作文、小テスト		○	○	・順序を表す言葉を理解している。 ・情報をわかりやすく伝える工夫をしている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	4
	言語活動1 【知識及び技能】 聞き手に伝わるスピーチの方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 他の人のスピーチを聞き取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語活動 「話し方の工夫」 ・言語活動 「スピーチで自分を伝える」	○			・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解している。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	5 社会と関わる・他者に出会う 【知識及び技能】 評論を読んで筆者の考えを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・矢田勝美 「真夏のひしこ漁」 ・山崎正和 「水の東西」			○	・筆者の考えを読み取ることができる。 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。	○	○	○	10
	b 言語カドリル4～6 【知識及び技能】 具体・抽象の概念を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体と抽象の関係を押さえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語カドリル入門 4 具体・抽象を理解する (1) 5 具体・抽象を理解する (2) 6 具体・抽象を意識して読む ・作文、小テスト		○	○	・具体・抽象の概念を理解している。 ・具体と抽象の関係を押さえている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	4
	d 表現 【知識及び技能】 表記の基本ルールを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語活動 「書き方の基礎レッスン」 ・言語活動 「地域の魅力を紹介する」	○			・表記・表現の基本ルールを理解している。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解している。 ・目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2 学 期	7 世界とつながる・視野を広げる 【知識及び技能】 芸術や歴史の真実に触れ、新しい着眼点について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・渡辺美佐子 「りんごのほっぺ」 ・港千尋 「無彩の色」	○	・芸術や歴史の真実に触れ、物の見方を変えることを学ぶ。 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。	1	12
	c 言語力ドリル7～9 【知識及び技能】 意見と事実の違いが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフから情報を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語力ドリル入門 7 意見・事実 8 要旨 9 グラフ(1) ・作文、小テスト	○ ○	・意見と事実の違いを理解している。 ・グラフから情報を読み取っている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○ ○ ○	4
	f 表現 【知識及び技能】 情報の探索と選択を実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 引用を適切に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語活動 「情報の探索と選択」 ・言語活動 「情報源の明示」	○	・引用の具体的な方法を理解している。 ・引用を適切に活用できるようになっている。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	○ ○ ○	6
	定期考査				○ ○	1
	5 社会と関わる・他者に出会う 【知識及び技能】 評論を読んで筆者の考えを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・村上信夫 「鍋洗いの日々」 ・石田英敬 「未来をつくる想像力」	○	・筆者の考えを読み取ることができる。 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。		12
3 学 期	d 言語力ドリル10～12 【知識及び技能】 主張と具体例の違いが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章から主張・具体例・理由を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語力ドリル入門 10 グラフ(2) 11 論理①主張・具体例 12 論理②主張・理由・具体例 ・作文、小テスト	○ ○	・主張と具体例の違いを理解している。 ・文章から主張・具体例・理由を読み取っている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○ ○ ○	4
	h 理解編6 【知識及び技能】 図表等を読み、理解したことをまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが伝わるように、表現の工夫を工夫する方法を知ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・図書委員会のポスターの掲示内容を検討する ・学校新聞の記事内容を検討する ・日本の労働問題に関わる資料を読み比べる ・法律の改正に関わる文章を読み比べる	○	・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめている。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用している。 ・表現の工夫を工夫してまとめようとしている。	○ ○ ○	6
	定期考査				○ ○	1
	8 未来に目を向ける 【知識及び技能】 主張と論理の関係を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開、要旨を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・細馬宏通 『不思議な拍手』 ・鷺田清一 『真の自立とは』	○	・文章の中で、主張と論理の違いやその関係を理解している。 ・内容や構成、論理の展開を捉え、要旨を把握している。 ・学習の見通しをもって、本文の構成を捉えようとしている。		12
	e 言語力ドリル13～15 【知識及び技能】 主張と具体例の違いを理解し、書き分けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主張・具体例・理由をつなげて書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・言語力ドリル入門 13 論理③意見を書く 14 論理④論理の評価 15 総まとめ ・作文、小テスト	○ ○	・主張と具体例の違いを理解し、書き分けている。 ・主張・具体例・理由を接続して書いている。 ・効果的に書く方法を理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○ ○ ○	4
定期考査				○ ○	1	
					合計	105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 M1 組～ S 組

教科担当者： (M1：西谷・山田) (M2：宮本・伊藤) (E：西谷・山田) (A：西谷・伊藤) (S：西谷・宮本)

使用教科書： ( 高等学校 数学 I 数研出版 )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	<b>単元 数と式①</b> <b>【知識及び技能】</b> 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、一次不等式を問題解決に活用する力を身に付ける。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 式の計算や数の拡張、一次不等式のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解  ・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I +A (数研出版)  ・一人1台端末の活用	<b>【知識・技能】</b> 基本的な計算を通して、数学の用語やその意味を理解することができる。また、式を整理することができる。二次の乗法公式及び因数分解の公式を理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的にとらえたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 式の計算や数の拡張、一次不等式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	<b>単元 数と式②</b> <b>【知識及び技能】</b> 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、一次不等式を問題解決に活用する力を身に付ける。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 式の計算や数の拡張、一次不等式のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導項目 3次式の展開と因数分解 実数 根号を含む計算 2重根号 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式  ・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I +A (数研出版)  ・一人1台端末の活用	<b>【知識・技能】</b> 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解している。また、1次不等式の解を求めることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 不等式の性質をもとに、一次不等式を解く方法を考えることができる。日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、一次不等式を問題解決に活用することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 式の計算や数の拡張、一次不等式を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>単元 2次関数①</p> <p>【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2次関数を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象を数学的に捉えて問題を解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数について、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目 関数とグラフ 2次関数のグラフ グラフの平行移動・対称移動 2次関数の最大・最小 2次関数の決定</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人1 端末末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。2次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次関数の性質や式の変形をもとに、問題を解く方法を考えることができる。2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどしてして多面的に考察すること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数や2次不等式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 2次関数②</p> <p>【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2次関数を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象を数学的に捉えて問題を解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数について、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目 2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係 放物線と直線の共有点 2次不等式 絶対値を含む関数のグラフ</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人1 端末末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数や2次不等式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。2次関数や2次不等式を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元 図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、三角比を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の品質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、三角比の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 三角比について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。</p>	<p>・指導項目 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張</p> <p>・教材 高等学校 数学 I (数研出版) REPEAT 数学 I + A (数研出版)</p> <p>・一人1 端末末の活用</p>	<p>【知識・技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比を求める方法を理解している。正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどをもとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角比やそれに関わる定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	余裕があれば、データの分析を行う。						合計 105

東京都立蔵前工科高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 M1 組～ M2 組 E 組 A 組 S 組

教科担当者： (M1組：唐澤・松本) (M2組：唐澤・鶴田) (E組：鶴田・唐澤) (A組：鶴田・唐澤) (S組：唐澤・松本)

使用教科書： ( All Aboard! English Communication Ⅰ )

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、文章を書いて伝えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取るようしたり、話し手や書き手の意図を把握しようしたり、概要や要点を目的に応じて捉えようしたり、また基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えようしたり、文章を書いて伝えようしたりすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 ( や )	話 ( 発 ) 書					
Lesson 1 Breakfast around the World 【知識及び技能】 【知識】動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 【技能】動詞の過去形の理解をもとに、世界の朝食を紹介するスピーチや、昨夜何をしたかについての対話の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食について学んだ事柄や、好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身に付けている。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身に付けている。	【題材内容】 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 【言語材料】 過去形 【言語活動】 好きな食べ物について、英語で述べることができる。 一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○					10
Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 【知識及び技能】 【知識】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 【技能】進行形 (be 動詞+動詞の-ing 形) の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、開いたり読んだりしながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、開いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】 オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 【言語材料】 進行形：(be 動詞+動詞の-ing 形) 【言語活動】 好きな動物について、英語で述べる 一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○					10
1 学期 定期考査		○	○	○	○					1

<p>Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 【知識及び技能】 【知識】助動詞can, will を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること、できないことについて、助動詞can, will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること、できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 【言語材料】 助動詞：can, will 【言語活動】 ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。 ・一人1台端末の活用 等</p>															10
<p>Lesson 4 A Miracle Mirror 【知識及び技能】 【知識】to不定詞 (to+動詞の原形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】ユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞 (to+動詞の原形) を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 【言語材料】 to不定詞：(to+動詞の原形) 【言語活動】 行ってみたい場所について、英語で述べるができる。 ・一人1台端末の活用 等</p>															10
<p>定期考査</p>																1
<p>Lesson 5 Learning from the Sea 【知識及び技能】 【知識】動名詞 (動詞の-ing 形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞 (動詞の-ing 形) を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 高校のユニークな部活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢や先週末に楽しんだことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 高校のユニークな部活動を通して、好きなことと将来の夢について考える。 【言語材料】 動名詞：(動詞の-ing 形) 【言語活動】 将来の夢について、英語で述べることができる。 ・一人1台端末の活用 等</p>															10
<p>Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 【知識及び技能】 【知識】受け身 (be 動詞+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】好きな絵の紹介とその理由について、受け身 (be 動詞+過去分詞) を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 【言語材料】 受け身：(be 動詞+過去分詞)</p>																



	<p>Lesson 9 Fighting Plastic Pollution</p> <p>【知識及び技能】 【知識】「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について調べた事柄を整理・理解している。【技能】「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。</p> <p>【言語材料】 名詞を後ろから説明する分詞</p> <p>【言語活動】 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 聞くこと：【知識】名詞を後ろから説明する分詞が用いられた文の形・意味を理解している。【技能】分詞（後置修飾）の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染と戦う姉妹を紹介する記事や、説明を読まれた人や物についての対話の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>読むこと：【知識】分詞が用いられた文の形・意味を理解している。英語で書かれるインターネットのサイトへの投稿記事の形式を理解している。【技能】分詞の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染と戦う姉妹を紹介する記事と姉妹の投稿記事の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>やり取り：【知識】プラスチックごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を整理・理解している。【技能】ごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>書くこと：【知識】ごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を整理・理解している。【技能】ごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、ごみの問題について自分たちにできることを書く技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 聞くこと：ごみによる環境汚染と戦う姉妹を紹介する記事と姉妹の投稿記事、ごみの問題について話される対話の概要を捉えている。</p> <p>読むこと：ごみによる環境汚染と戦う姉妹を紹介する記事と姉妹の投稿記事の概要を捉えている。</p> <p>やり取り：ごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、考えなどを伝え合っている。</p> <p>書くこと：ごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、ごみの問題について自分たちにできることを整理して話している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 聞くこと：環境汚染と戦う姉妹を紹介する記事と姉妹の投稿記事、ごみの問題について話される対話の概要を捉えようとしている。</p> <p>読むこと：ごみによる環境汚染と戦う姉妹を紹介する記事と姉妹の投稿記事の概要を捉えようとしている。</p> <p>やり取り：学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、考えなどを伝え合おうとしている。</p> <p>発表：学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、ごみの問題について自分たちにできることを整理して話そうとしている。</p> <p>書くこと：ごみによる環境汚染について学んだり、ごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、ごみの問題について自分たちにできることを書こうとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>	
<p>3 学期</p>	<p>Lesson 10 Pigs from across the Sea</p> <p>【知識及び技能】 【知識】関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。また、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について、自分で調べた事柄を整理・理解している。【技能】関係代名詞who, whichの理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を理解するためにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<p>【題材内容】 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。</p> <p>【言語材料】 関係代名詞：who, which</p> <p>【言語活動】 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる。</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 聞くこと：【知識】関係代名詞who, whichを用いた文の形・意味を理解している。【技能】関係代名詞の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助などを紹介する記事や、関係性を調った説明を加えられた場所についての対話の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>読むこと：【知識】関係代名詞を用いた文の形・意味を理解している。【技能】関係代名詞の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人の援助などを紹介する記事の内容を読み取る技能を身につけている。</p> <p>やり取り：【知識】第二次世界大戦後の沖縄とハワイからの援助、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、考えや情報などを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>発表：【知識】学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を整理・理解している。【技能】学んだり、調べた事柄を用いて、海外の文化や社会を理解するためにできることを書く技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 聞くこと：大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助などを紹介する記事や、海外の文化や社会を理解する手段について話されるスピーチや対話の概要を捉えている。</p> <p>読むこと：沖縄への援助などを紹介する記事の概要を捉えている。</p> <p>やり取り：調べた事柄などを用いて、考えや情報などを伝え合っている。</p> <p>発表：学んだり、調べた事柄を用いて、考えや情報などを整理して話している。</p> <p>書くこと：学んだり、調べた事柄を用いて、海外の文化や社会を理解するためにできることを書いている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 聞くこと：大戦後の沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助などを紹介する記事や、海外の文化や社会を理解する手段について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。</p> <p>読むこと：記事の概要を捉えようとしている。</p> <p>やり取り：学んだことや、調べた事柄を用いて、考えや情報などを伝え合おうとしている。</p> <p>発表：学んだことや、調べた事柄を用いて、海外の文化や社会を理解する手段について話そうとしている。</p> <p>書くこと：学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、海外の文化や社会を理解するためにできることを書こうとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>10</p>	
<p>定期 考査</p>			<p>○ ○ ○ ○ ○</p>		<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>1</p>	
								<p>合計 105</p>

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 M1組～S組

教科担当者：（M1組：原島）（M2組：原島）（E組：原島）（A組：原島）（S組：原島）

使用教科書：（『高等学校 公共—これからの社会について考える』（数研出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしてい

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、現代社会に生きる人間として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの本質などについて自覚を深めようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
西洋近現代の思想 【知識及び技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身に付けさせる。	・第一節 西洋近現代の思想 1. 科学的・合理的な考え方 2. 民主社会の倫理 3. 他者とともに生きる  ・考え方のレッスン 1・2	【知識・技能】 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身に付けようとしている。	○	○	○	4
現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究する。 定期考査	・第二節 現代の諸課題と倫理 1. 地球環境をめぐる問題 2. 資源・エネルギーをめぐる問題 3. 生命をめぐる問題 4. 情報をめぐる問題  ・クローズアップ 01・02・03・04 ・Thinking time 05・06	【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	5
1 民主社会の基本原則 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治が自らの生活とかわかっていることを理解し、民主社会に	・第一節 民主社会の基本原則 1. 民主政治と基本的人権 2. 権力分立と法の支配 3. 個人や社会とのかわり  ・Thinking time 07 ・クローズアップ 05	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 【思考・判断・表現】 このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主政治が自らの生活とかわかっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	4
日本社会の基本原則 【知識及び技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利	・第二節 日本社会の基本原則 1. 日本国憲法と基本原則 2. 平等権・自由権 3. 社会権・参政権・請求権 4. 人権の広がり 5. 国会のしくみと役割 6. 内閣のしくみと行政機構  ・クローズアップ 06・07・08 ・Thinking time 08	【知識・技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解できている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。	○	○	○	7
法と契約 【知識及び技能】 法や規範の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど具体的な例を挙げる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行う。	第一節 法と契約 1. 法・規範の意義と役割 2. 経済社会とルール 3. 契約と消費者の権利  ・クローズアップ 09 ・Thinking time 09・10	【知識・技能】 法や規範の意義や役割が理解できている。 【思考・判断・表現】 日常の買い物や銀行のクレジットカードなど具体的な例を挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。	○	○	○	3
司法参加の意義 【知識及び技能】 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることを理解する。	第二節 司法参加の意義 1. 司法権と日本の裁判制度 2. 司法参加の意義  ・クローズアップ 10・11	【知識・技能】 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 【思考・判断・表現】				

2 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察する。</li> <li>・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持たせ定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Thinking time 11</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。</li> <li>・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持つことができている。</p>	○	○	○	3
	<p>政治参加と民主政治の課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つ。</p>	<p>・第一節 政治参加と民主政治の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選挙の役割と意義</li> <li>2. 政党の役割</li> <li>3. 地方自治の現状と課題</li> <li>4. 世論の形成と政治参加</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロズアップ 12・13</li> <li>・Thinking time 12</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。</p>	○	○	○	1
	<p>国際政治の動向</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解する。</li> <li>・国際連盟・国際連合の組織と役割を理解する。</li> <li>・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察する。</li> <li>・国連の現状と課題について考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てる。</li> <li>・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。</li> </ul>	<p>・第二節 国際政治の動向</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際社会と国際法</li> <li>2. 戦後の国際情勢</li> <li>3. 現代の紛争</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロズアップ 14</li> <li>・Thinking time 13</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。</li> <li>・戦後の国際情勢</li> <li>・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。</li> <li>・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。</li> <li>・国連の現状と課題について考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。</li> <li>・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>定期考査</p>			○	○	○	1
	<p>経済のしくみと産業の変化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の企業の果たしている役割を理解している。</li> <li>・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解している。</li> <li>・産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の企業倫理について考察している。</li> <li>・経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI やIT などの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考察することができる。</li> <li>・経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたえられる。</li> </ul>	<p>・第一節 経済のしくみと産業の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済生活のしくみ</li> <li>2. 企業の働きと役割</li> <li>3. 日本を支える中小企業と農業</li> <li>4. 産業構造の変化と職業</li> <li>5. 労働者の権利</li> <li>6. 現代の労働問題</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロズアップ 17・18</li> <li>・Thinking time 16・17</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の企業の果たしている役割が理解できている。</li> <li>・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。</li> <li>・産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の企業倫理について考察できている。</li> <li>・経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI やIT などの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考察することができる。</li> <li>・経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたえられる。</li> </ul>	○	○	○	9
<p>市場経済のしくみと金融</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済のメカニズムを理解する。</li> <li>・各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができる。</li> <li>・金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察する。</li> <li>・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>商品の価格は需給関係によって変動する</p>	<p>・第二節 市場経済のしくみと金融</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市場経済のしくみと物価</li> <li>2. 国民所得と経済成長</li> <li>3. 金融の役割と金融政策</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロズアップ 19・20・21</li> <li>・Thinking time 18・19</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済のメカニズムが理解できている。</li> <li>・各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができる。</li> <li>・金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。</li> <li>・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動がとれている。</p>	○	○	○	6	
<p>財政と社会保障</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府が経済に果たしている役割を理解している。</li> <li>・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示している。</li> <li>・社会保障について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の経済について課題を発見</li> </ul>	<p>・第三節 財政と社会保障</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財政と租税の役割</li> <li>2. 公害対策と環境保全</li> <li>3. 少子高齢社会における社会保障</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロズアップ 22・23</li> <li>・Thinking time 20</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政府が経済に果たしている役割を理解できている。</li> <li>・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。</li> <li>・社会保障について理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持てている。</li> </ul>	○	○	○	6	
3 学 期							

<p>国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貿易や外国為替相場について、そのしくみを理解している。</li> <li>戦後の国際経済の流れを理解している。</li> <li>発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できる。</li> <li>格差のある国際社会で、その克服</li> </ul>	<p>・第四節 国際経済の動向と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際経済のしくみ</li> <li>2. 戦後の国際経済体制</li> <li>3. グローバル化と現代の国際経済</li> <li>4. 地域経済統合</li> <li>5. 南北問題とその課題</li> </ol> <p>・クローズアップ 24・25・26</p> <p>・Thinking time 21</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。</li> <li>戦後の国際経済の流れが理解できている。</li> <li>発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。</li> <li>格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持つことができている。</li> </ul>	○	○	○	7
<p>課題研究</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会に生きる私たちの課題を指摘できる。</li> <li>現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できる。</li> <li>それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができる。</li> </ul>	<p>・持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題を発見しよう</li> <li>2. 課題を設定しよう</li> <li>3. 情報を収集しよう</li> <li>4. 研究成果をまとめて社会へ発信しよう</li> <li>5. 討論してみよう</li> </ol> <p>・クローズアップ 27</p> <p>・Thinking time 22</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。</li> <li>現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できている。</li> <li>それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つことができている。</li> </ul>	○	○	○	<p>3</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>70</p>

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第1 学年 機械科1組、機械科2組、電気科、建築科、設備工業科

教科担当者：（機械科1組、機械科2組、設備工業科：入船 寛子）（電気科、建築科：長沼 七海）

使用教科書：（「科学と人間生活」東京書籍）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・ヒトの眼の基本的な構造を理解させる。 ・眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを実験を通して理解させる。 ・体内時計が光の刺激によって調節され、睡眠などのヒトの行動に関わっていることを理解させる。	1編 生命の科学 第2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響	【知技①】ヒトの視覚が生じる仕組みについて理解している。【発言分析・記述分析】 【知技②】安全面や衛生面に留意して実習に取り組み、ブタの眼球について、スケッチや文章で適切に記録している。【行動観察・記録分析】 【態度①】日常生活を振り返りながら、学んだことを生かして、体内時計を維持するための規則正しい生活の重要性について考えようとしている。【発言分析・行動観察】 【知技③】眼の構造、遠近や明るさによる眼のはたらきの調節、体内時計について理解している。【発言分析・記述分析】	○		○	3
・食事や運動などの活動によって、血糖濃度は一時的に変動するが、ホルモンにより調節されて一定の範囲内に保たれていることを理解させる。 ・すい臓から分泌されるホルモンの作用により、血糖濃度が調節されるしくみを理解させる。	2 血糖濃度を調整する仕組み	【思考①】既習の内容や生活経験を基に、活動するためのエネルギー源として炭水化物に着目し、体内での炭水化物の利用に問題を見だし、表現している。【発言分析・記述分析】 【知技④】炭水化物の消化と吸収や吸収されたグルコースの体内における流れ、血糖濃度について理解している。【発言分析・記述分析】 【思考②】血糖濃度に対するインスリンとグルカゴンのはたらきについて、データを基に科学的に考察し、表現している。【発言分析・記述分析】 【態度②】日常生活を振り返ったり、友達と対話したりしながら、糖尿病を防ぐための生活習慣の重要性について考えようとしている。【発言分析・行動観察】 【知技⑤】ホルモンによる血糖濃度の調節の仕組みや糖尿病と人間生活との関わりについて理解している。【発言分析・記述分析】	○	○	○	3
・食事や運動などの活動によって、血糖濃度は一時的に変動するが、ホルモンにより調節されて一定の範囲内に保たれていることを理解させる。 ・すい臓から分泌されるホルモンの作用により、血糖濃度が調節されるしくみを理解させる。 ・インスリンの分泌不足などにより糖尿病が発症されることを理解する。	3 体を守る免疫のしくみ	【思考③】一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り、科学的に考察して、免疫記憶の利点を見だし、表現している。【発言分析・記述分析】 【知技⑥】免疫の仕組みとしての抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。【発言分析・記述分析】 【思考④】はしかの予防接種の効果について、データを基に科学的に考察して見だし、表現している。【発言分析・記述分析】 【知技⑦】予防接種で感染症を予防する仕組みや免疫反応によるアレルギーについて理解している。【発言分析・記述分析】	○	○		3
・遺伝子の本体であるDNAの構造について理解させる。 ・タンパク質がヒトの生命現象に関与していることを理解させる。 ・遺伝子の情報をもとにタンパク質がつくられることを理解させる。	4 生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき	【知技⑧】安全面や衛生面に留意して実験を行い、抽出したDNAについて、スケッチや文章で適切に記録している。【行動観察・記録分析】 【知技⑨】DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解している。【発言分析・記述分析】 【態度③】学んだことを生かして、転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつくられる過程について、自らの言葉で表現しようとしている。【発言分析・行動観察】 【知技⑩】DNAの塩基配列を基にヒトの体内でタンパク質がつくられる過程について理解している。【発言分析・記述分析】 【知技⑪】ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。【発言分析・記述分析】 【知技⑫】視覚、血糖濃度の調節、免疫、遺伝子のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解している。【発言分析・記述分析】	○		○	5
・持続可能な社会を目指すために、資源の有効活用に向けた3Rなどの考え方を理解させる。 ・ガラス・金属・プラスチックの再利用について理解させる。	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 1 リサイクルとは何か	【態度④】学んだことや生活経験を生かして、ガラス瓶の再利用における物質循環について、自分なりのモデルで表現しようとしている。【発言分析・行動観察】 【知技⑬】ガラス瓶における3Rやそれぞれの	○		○	1

			利点について理解している。[発言分析・記述分析]				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の生活では多くの金属が渡地たちの生活を支えていることを理解させる。</li> <li>・金属に共通する性質を理解させる。</li> <li>・金属結合をつくる自由電子により、金属が特有の性質を示すことを理解させる。</li> <li>・身近な鉄・銅・アルミニウムを例に、それぞれの性質と利用例について理解させる。</li> <li>・鉄・銅・アルミニウムの製錬の方法を理解させる。</li> <li>・金属の腐食(さび)について理解させ、それを防ぐ方法をあわせて理解させる。</li> </ul>	2 金属の性質とその再利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知技②】金属特有の性質とそれらを生み出す金属の構造について理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技③】器具や薬品を正しく扱いながら金属の分類の実験を行い、得られた結果を表に整理して記録している。[行動観察・記録分析]</li> <li>【思考①】金属を区別する実験の計画を立てるとともに、得られた結果を基に、金属の種類による性質の違いについて科学的に考察して見だし、表現している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技④】金属の種類による物理的な性質や化学的な性質の違いについて理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技⑤】銅や鉄、アルミニウムの製錬やさびびについて、人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【思考②】スチール缶やアルミニウム缶の再生利用の利点について、資料などを基に科学的に考察して見だし、表現している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技⑥】スチール缶やアルミニウム缶の再生利用の方法やその利点について理解している。</li> </ul>	○	○		6	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックの利用例と、一般的な性質を理解させる。</li> <li>・プラスチックの熱に対する性質を理解させる。</li> <li>・プラスチックのような高分子化合物が単量体の重合によってつくられることを理解させる。</li> <li>・プラスチックの構成元素を理解させ、燃焼によって生じる物質について理解させる。</li> <li>・身のまわりに多く使われているプラスチックの種類について理解させる。</li> <li>・近年開発が進められている優れた機能をもつプラスチックについて理解させる。</li> </ul>	3 プラスチックの性質とその再利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知技⑦】ガラス器具や加熱器具を正しく扱いながらプラスチックの分類の実験を行い、得られた結果を表に整理して記録している。[行動観察・記録分析]</li> <li>【思考③】プラスチックを分類する実験の計画を立てるとともに、得られた結果を基に、プラスチックの性質について科学的に考察して見だし、表現している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【態度②】既習の内容を想起したり、友達と対話したりしながら、実験の計画を立てたり、実験結果を分析してプラスチックを分類したりしようとしている。[発言分析・行動観察]</li> <li>【知技⑧】プラスチックの種類とそれらの性質や特徴について理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【態度③】学んだことを生かして、ポリマーが合成される過程について自分なりのモデルで表現しようとしている。[発言分析・行動観察]</li> <li>【知技⑨】プラスチックの構造について理解している。また、さまざまな機能をもつプラスチックについて、人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技⑩】プラスチックの再生利用について、人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【態度④】資料などを調べたり、友達と対話したりしながら、プラスチックやその再生利用と人間生活との関わりについて多面的に考えようとしている。[発言分析・行動観察]</li> <li>【知技⑩】金属やプラスチックの種類、性質</li> </ul>	○	○	○	7	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な光の進み方(光の直進性、光の速さ)について理解させる。</li> <li>・反射した光の進み方について理解させる。</li> <li>・自然光と偏光の違いについて理解させる。</li> <li>・屈折した光の進み方について理解させる。また、屈折率について実験を通して理解させる。</li> <li>・全反射はどのような現象か理解させる。</li> <li>・白色光はあらゆる色の光が混ざったものであることを理解させる。</li> <li>・光の3原色の組合せでさまざまな色をつくり出せることを、実験を通して理解させる。</li> <li>・光の色と波長の関係を理解させる。</li> <li>・人間の目で感知することができる可視光線だけでなく、人間の目には見えない光(紫外線や赤外線)があることについても触れる。</li> <li>・光の分散はどのような現象か理解させる。</li> </ul>	3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 1 光の進み方とその基本的な性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思考①】生活経験を基に、水底が深く見える現象などに着目し、物質の境界面での光の進み方に問題を見だし、表現している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技①】物質の境界面での光の進み方に関して、反射や屈折、全反射について理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技②】偏光板を通して光を観察した結果について、スケッチや文章で適切に記録している。[行動観察・記録分析]</li> <li>【思考②】偏光板を通して光を観察した結果を基に、物体のひずみと光の関係について考察し、表現している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【態度①】偏光板を通していろいろな物を見て、友達と対話したりしながら、光の波としての性質を見いだそうとしている。[発言分析・行動観察]</li> <li>【知技③】光の分散や波長とスペクトルとの関係、偏光などの光の性質について理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技④】光の回折、干渉などの光の性質について理解している。[発言分析・記述分析]</li> </ul>	○	○	○	7	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・光源による光のスペクトルの違いについて実験を通して理解させる。</li> <li>・光の散乱はどのような現象か理解させる。</li> <li>・波の回折・干渉とはどのような現象か理解させるとともに、光も回折・干渉することを理解させる。しゃぼん玉が虹色に見える理由にも触れ、光の干渉について理解を深めさせる。</li> </ul>	2 目に見える光と色の見え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思考③】さまざまな光源のスペクトルの観察結果を基に、光源による光のスペクトルの違いを見だし、表現している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技⑤】光のスペクトルには連続スペクトルと線スペクトルがあり、光源によってスペクトルに違いがあることを理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>【知技⑥】物体の色の生じ方について、光の3原色や人の視覚と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析]</li> </ul>	○	○		3	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・光は電磁波の一種であることを理解させる。</li> <li>・電磁波の分類について理解させる。</li> <li>・電磁波は波であり、反射・屈折・回折・干渉などの性質を示すことを理解させる。</li> <li>・電波、赤外線、紫外線、X線やγ</li> </ul>	3 目に見えない光とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知技⑦】安全面に留意して紫外線を観察し、得られた結果を適切に記録している。[行動観察・記録分析]</li> <li>【態度②】学んだことを生かして、友達と対話しながら、赤外線や紫外線の日常生活への利用における長所と短所について多面的に考えようとしている。[発言分析・行動観察]</li> <li>【知技⑧】赤外線や紫外線などの電磁波の種</li> </ul>					

2 学 期	線といった電磁波は、それぞれどのように利用されているか学習させる。赤外線や紫外線の性質については、実験を通して理解を深めさせる。		類と性質、それらの利用について人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析] 【態度③】学んだことを生かして、友達と対話しながら、科学技術のあり方や日常生活への利用について多面的に考えようとしている。[発言分析・行動観察] 【知技⑨】電波やX線、ガンマ線の性質とそれらの利用について、人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析] 【知技⑩】光の進み方とその基本的な性質、目に見える光と色の見え方、目に見えない光とその利用について、人間生活と関連付けて理解している。[発言分析・記述分析]	○	○	○	4
	・温度は何を表すものなのか理解させる。また、物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解させる。 ・セルシウス温度と絶対温度について理解させる。 ・熱平衡とはどのような状態か理解させる。 ・熱容量と比熱について理解させる。また、熱量の保存についても学習させ、実験を通してこれらについて理解を深めさせる。 ・熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解させる。	2章 熱の性質とその利用 1 熱とは何か	【思考①】既習の内容や生活経験を基に、温度による物質の状態変化に問題を見だし、表現している。[発言分析・記述分析] 【知技①】原子や分子の熱運動は温度が高いほど激しくなることや、温度の意味、表し方について理解している。[発言分析・記述分析] 【知技②】物質の温まりやすさについて、安全面に留意して実験を行い、温度変化の様子を温度計を使って測定し、適切に記録している。[行動観察・記録分析] 【思考②】物質の温まりやすさを調べた結果を基に科学的に考察し、物質による温まりやすさの違いを見だし、表現している。[発言分析・記述分析] 【態度①】実験を丁寧に行い、実験結果を比較したり、友達と対話したりしながら、物質による温まりやすさの違いを見いだそうとしている。[発言分析・行動観察] 【知技③】熱平衡や熱量の保存、比熱について理解している。[発言分析・記述分析] 【態度②】生活経験を想起し、友達と対話しながら、学んだことを生かして、日常生活における熱伝導や対流、放射の利用について考えようとしている。[発言分析・行動観察] 【知技④】熱伝導や対流、放射とそれらの性質の利用について人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析]	○	○	○	7
	・エネルギーには、いろいろな種類があることを学習させる。また、エネルギーは相互に変換されることを実験を通して理解させる。 ・熱機関について、実験を通して理解させる。また、熱効率についても学習させ、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを理解させる。 ・可逆変化と不可逆変化は、それぞれどのような変化か理解させる。 ・さまざまな発電方法でどのように電力を生み出しているか理解させる。 ・複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを学習させる。	2 エネルギーの利用と私たちのくらし	【思考③】力学的エネルギーによる熱の発生について調べた結果を基に、どのような仕組みで温度が上がるのかを考察し、表現している。[発言分析・記述分析] 【知技⑤】力学的エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解している。[発言分析・記述分析] 【知技⑥】発熱反応や吸熱反応について、器具や薬品を正しく扱いながら実験を行い、得られた結果をグラフに整理している。[行動観察・記録分析] 【知技⑦】化学エネルギーや電気エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解している。[発言分析・記述分析] 【知技⑧】熱機関と熱効率、熱現象の可逆変化と不可逆変化について理解している。[発言分析・記述分析] 【態度③】学んだことを生かして、友達と対話しながら、持続可能な社会の実現のための科学技術の活用や人間生活との関わりについて多面的に考えようとしている。[発言分析・行動観察] 【知技⑨】エネルギーの有効利用について、人間生活と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析]	○	○	○	7
	・同じ時刻に太陽や月が見える方は日によって変化するかを考え、太陽や月の日周運動について問題を見いだす。 ・地球の自転と公転によって、1日や1年が定義されていることを理解する。 ・月の見え方とひと月、暦の関係を理解する。 ・潮位の変化による現象を知り、どのようにして起きるのかに興味をもつ。 ・潮位のデータを基に、潮位の変化の規則性について考察する。 ・潮の満ち干と月の引力との関係について考え、理解する。 ・太陽、地球、月の位置関係と潮位の変動との関係について考え、潮位の変動の周期性について理解する。 ・大潮と高潮が重なると、災害をもたらすことがあることを理解する。 ・太陽のエネルギー源、太陽活動の変動、太陽の放射エネルギーについて知る。 ・太陽の光エネルギーを利用した太陽光発電の利点と課題について考え、理解する。 ・太陽放射の熱収支について理解する。 ・温室効果ガスと温室効果の仕組み	4編 宇宙と地球の科学 1章 太陽と地球 1 太陽と月がもたらすリズム	【態度①】学んだことを生かして、地球の自転や公転と月の公転によりどのように日、月、年がつくられるか、自分なりの図や言葉で表現しようとしている。[発言分析・行動観察] 【知技①】日、月、年という時間単位の定義や意味について、月や地球の運動と関連付けながら理解している。[発言分析・記述分析] 【知技②】潮位の変化のデータを正しくグラフに整理している。[行動観察・記録分析] 【思考①】潮位の変化のデータを基に、科学的に考察して、潮位の変化の周期性を見だし、表現している。[発言分析・記述分析] 【態度②】潮位の変化のグラフを分析したり、友達と対話したりしながら、潮位の変化に周期性があることに疑問をもったり、その理由を考えたりしようとしている。[発言分析・行動観察] 【知技③】潮の満ち干と月の引力との関係や太陽、地球、月の位置関係による潮位の変動の周期性、高潮による被害について理解している。[発言分析・記述分析]	○	○	○	5
	・太陽のエネルギー源、太陽活動の変動、太陽の放射エネルギーについて知る。 ・太陽の光エネルギーを利用した太陽光発電の利点と課題について考え、理解する。 ・太陽放射の熱収支について理解する。 ・温室効果ガスと温室効果の仕組み	2 太陽の動かす大気と水	【思考②】既習の内容や生活経験を基に、太陽の放射エネルギーに着目し、太陽の放射エネルギーと大気や気候との関わりに問題を見だし、表現している。[発言分析・記述分析] 【知技④】鏡を安全面に留意して扱うとともに、温度計の数値を正しく読み取り、記録している。[行動観察・記録分析] 【知技⑤】太陽活動や太陽の放射エネル				

3 学 期	<p>みを理解し、地球温暖化について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気の流れや対流について理解する。</li> <li>・緯度による太陽の熱の放射量の違いと地球の自転によって大気の流れができることを理解し、大気の大循環を理解する。</li> <li>・海流は風によって生じることを理解する。</li> <li>・大気と海水の移動によって低緯度の熱を高緯度に運び、その結果として気候が形成されることを理解する。</li> <li>・地球の公転と自転軸の傾きによって季節が生じることを理解する。</li> <li>・気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係を理解する。</li> <li>・熱帯低気圧の経路図を基に、台風の発生場所と移動経路の特徴について考察する。</li> <li>・台風や集中豪雨などによって災害が起こることがあることを理解する。</li> </ul>		<p>ギー、温室効果による地球温暖化について、人間生活と関連付けながら理解している。</p> <p>【発言分析・記述分析】</p> <p>【態度③】貿易風や偏西風などの風と人間生活との関わりに関心をもち、主体的に調べて、考えようとしている。【発言分析・行動観察】</p> <p>【知技⑥】大気の大循環や海流が生じる仕組み、それらによって気候が形成される仕組みについて理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【思考③】熱帯低気圧や海水面の温度などの資料を基に、台風の発生場所や移動経路の特徴について科学的に考察し、表現している。</p> <p>【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技⑦】地球の公転と四季との関係、気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係および停滞前線や台風が発生する仕組みについて理解している。【発言分析・記述分析】</p>	○	○	○	9
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒマラヤ山脈でとれたアンモナイトの写真を基に、地球規模の地形のでき方について問題を見いだす。</li> <li>・プレート運動により、プレート境界に海嶺や海溝、山脈などができることを理解する。</li> <li>・地表の景観は常に変化し続けており、長い時間をかけて少しずつ移り変わることについての理解を深める。</li> <li>・断層運動によって山地と低地ができることを理解する。</li> <li>・断層運動によってできた地形が見られる場所は、過去に地震が繰り返し発生した場所であることを理解し、防災のための取り組みの必要性に気づく。</li> <li>・マグマの性質とそれによる火山の姿や噴火の形態について理解する。</li> <li>・山脈や火山をもたらす原動力は地球内部の熱であり、その熱が地表に放出される過程でプレートが動いていることを理解する。</li> <li>・地表は徐々に風化してもろくなり、地すべりや土砂崩れ、土石流などが起こることがあることを理解する。</li> <li>・斜面崩壊や土石流のモデル実験を行う。</li> <li>・流水の三作用について理解する。</li> <li>・太陽のエネルギーがもたらすさまざまな地形や景観について理解する。</li> </ul>	<p>2章 自然景観と自然災害</p> <p>1 身近な自然景観の成り立ち</p>	<p>【知技①】プレート運動により海嶺や海溝、山脈ができ、地表の景観は変化し続けていることを理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【思考①】地形図と活断層分布図から、断層運動によってかかる力の向きについて科学的に考察し、表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技②】断層運動によって山地と低地ができること、断層運動によってできた地形が見られる場所は、過去に地震が繰り返し発生した場所であることを理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技③】マグマの性質によって火山の姿や噴火の形態に違いがあること、山脈や火山をもたらす原動力は地球内部の熱であることを理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技④】斜面崩壊や土石流のモデル実験について、得られた結果を適切に記録している。【記録分析】</p> <p>【態度①】学んだことを生かして、友達と対話しながら、太陽のエネルギーが地表に及ぼす作用と身近に見られる自然景観とを関連付けて考え、表現しようとしている。【発言分析・行動観察】</p> <p>【知技⑤】太陽のエネルギーによって流水や風が生じ、それらによってさまざまな地形や景観がもたらされていることを理解している。【発言分析・記述分析】</p>	○	○		5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害と人間生活について考え、自然災害やそれらに対する対策について問題を見いだす。</li> <li>・自然災害と自然現象との違いについて理解する。</li> <li>・自然災害と人間生活との関わりについての理解を深める。</li> <li>・プレート境界で起こる地震と内陸で起こる地震のメカニズムと特徴について理解する。</li> <li>・液状化のモデル実験を行う。</li> <li>・地震災害への対策の必要性を理解し、防災・減災のための具体的な取り組みについて知り、自分たちにできることはあるか考える。</li> <li>・火山の噴火によるさまざまな災害について理解する。</li> <li>・火山の噴火に対する防災・減災のための取り組みについて知り、自分たちにできることはあるか考える。</li> <li>・台風や低気圧などの大雨によるさまざまな災害について理解する。</li> <li>・暴風や雷、大雪などによっても気象災害が起こることを知る。</li> <li>・ハザードマップと地形図を比較して水害や土砂災害が起こりやすい地形を調べ、それらが起こりやすい地形の特徴を捉える。</li> <li>・気象災害に対する防災・減災のための取り組みや課題について知り、自分たちにできることはあるか考える。</li> <li>・自然災害を軽減するために自分たちにできることについて問題を見いだす。</li> <li>・天気予報の仕組みや気象観測の発達について理解する。</li> <li>・気象に関する注意報と警報について理解し、それらが発令された際の行動について考える。</li> <li>・火山の噴火を予測したり、地震</li> </ul>	<p>2 自然災害と防災</p>	<p>【知技⑥】自然災害と自然現象との違いや被害軽減のための方法について理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【思考②】液状化のモデル実験の結果を基に考察して、液状化の仕組みについて見だし、実際に起こる現象と関連付けて表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【態度②】学んだことを生かして、友達と対話しながら、地震による被害を少なくするためにできることを具体的に考えようとしている。【発言分析・行動観察】</p> <p>【知技⑦】プレート境界の地震や内陸で起こる地震の仕組みと特徴、それらによる災害について理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技⑧】火山の噴火の特徴とそれらによる災害について理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技⑨】ハザードマップや地形図などの資料を調べ、水害や土砂災害が起きやすい地形について適切に記録している。【行動観察・記録分析】</p> <p>【思考③】ハザードマップや地形図などの資料を基に考察し、水害や土砂災害が起きやすい地域とその地域の地形との関係について見だし、表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技⑩】台風や低気圧などの大雨による災害、気象災害に対する防災・減災のための取り組みについて理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【思考④】自然災害から生命を守るために自分たちにできることについて、学んだことを基に科学的に考察し、表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【知技⑪】自然災害に対する防災・減災のための取り組みにさまざまな科学技術が利用されていることを理解している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【態度③】自然災害に対する防災・減災のための取り組みへの科学技術の重要性と限界や自分たちにできることについて、友達と対話しながら多面的に考えようとしている。【発</p>	○	○	○	9

<p>八咫の舞を踊りながら、地震波や津波の到達に先回りしたりするためのシステムについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害に対する防災・減災のための取り組みへの科学技術の重要性と限界について理解し、自分たちにできることを考える。</li> </ul>		<p>しなやかな多面性をもつてほしい。【発言分析・行動観察】</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や生活の中から疑問を発見させ、そのテーマについて調べていく方法を学ばせる。</li> <li>・調べたことをまとめ、発表する技術と方法について学習させ、自分の考えを相手に正しく効果的に伝えることの大切さを理解させる。</li> </ul>	<p>5章 課題研究</p>	<p>【思考①】既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【態度①】課題研究に関心を持ち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。【発言分析・行動観察】</p> <p>【思考②】自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【態度②】観察・実験や資料調査、結果を基にした考察に進んで取り組み、自ら設定した課題について粘り強く解決しようとしている。【発言分析・行動観察】</p> <p>【知技①】自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている。【発言分析・記述分析】</p> <p>【思考③】課題研究の過程や導き出した結論について、わかりやすく表現している。【発言分析・記述分析】</p> <p>【態度③】課題研究の内容や進め方などについて、友達との対話なども参考にしながら振り返り、科学と人間生活との関わり方や科学的に探究する方法について認識を深めようとしている。【発言分析・行動観察】</p> <p>【知技②】課題研究の内容や進め方などを振り返り、科学と人間生活との関わり方や科学的に探究する方法について認識を深めている。【発言分析・記述分析】</p>	○	○	○	12
						合計
						96

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：伊坂・内野）（M2組：伊坂・内野）（E組：伊坂・渡辺）（A組：伊坂・渡辺）（S組：伊坂・渡辺）

使用教科書：（現代高等保健体育：大修館書店）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続させるための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>※通年で実施していく。</li> </ul> <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切に使用とすること、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	
<p>C 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・50m走</li> <li>・100m走</li> <li>・1500m走</li> </ul> <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保している。</li> </ul>	○	○	○	9
<p>E 球技</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・バスケットボール</li> </ul> <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保している。</li> </ul>	○	○	○	9

1 学期

<p>D 水泳</p> <p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・クロール、平泳ぎ</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	6
<p>H 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・スポーツの発祥と発展</p> <p>○教材 ・教科書、プリント</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	2
<p>D 水泳</p> <p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・クロール、平泳ぎ</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	6
<p>E 球技</p> <p>【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・体づくり運動 ・ソフトボール ・バレーボール</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	18

1 期	<p><b>C 陸上競技</b> 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・長距離走</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	2
2 期	<p><b>H 体育理論</b> 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・運動・スポーツの学び方</p> <p>○教材 ・教科書、プリント</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	2
3 期	<p><b>C 陸上競技</b> 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・長距離走</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	8
3 期	<p><b>E 球技</b> 【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・体づくり運動 ・サッカー ・バレーボール ・バドミントン</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	8
							合計
							70





